

教育目標

自ら学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

飯小は、この教育目標を理念に、「共に育ち、共に生きる 地域の学校」を目指します。

学校だより

上越市立飯小学校

明治9年8月17日開学

第10号 R2. 12. 15

メディアとの関わり方について考えよう



学校は、あと数日で冬休みとなります。子供たちだけでなく、ご家族や地域の皆様もコロナ禍で家にいる時間が多い年末年始となるのではないかと推察します。そこで大切になるのは、テレビ、ゲーム機、スマートフォンなどの電子メディアとの関わり方です。これらのメディアは便利ですし、視聴・使用していれば、とても楽しいものです。ただし、その時間が多くなると、健

康・生活・学力・人間関係に悪い影響を及ぼします。そこで、冬休みを前に、メディアとの関わり方についての授業を校長が全クラスで行いました。

1・2年生は、テレビや新聞の情報は必ずしも真実ばかりではないこと、やめられなくなってしまう脳、小さい画面による目への影響などを学習しました。

3年生以上は授業の事前にメディアと生活に関するアンケート調査を実施し、その結果を基に、自分たちのメディアとの関わり方について考えました。

冬休みは、家庭で過ごす長い時間がありますから、メディアと大に関わることも悪いことではありません。ただ、関わる時間をコントロールする力を付けていくことも大切です。そのために、ゲーム・動画・テレビ以外に取り組めることも見付けておきたいものです。ご家庭でも、メディアとの関わり方についてお子さんと話し合ってみてください。

書初め講習会（12月4・11日）

トン、クィ！何の事だかお分かりになるでしょうか。これは筆を半紙に当てる音と筆を立てる音です。上越教育大学から荒川特任教授を講師にお招きし、3～6年生対象に書初め講習会を行いました。毛筆は、鉛筆と異なり紙に対して垂直の角度で書かないとよい字になりません。そこで、筆を「トン」と置いたら、「クィ」と立てて、「グーッ」と筆を動かす練習をしました。「トン、クィッ」と口に出して手を動かすことによって正しい筆遣いが身に付いていきます。講習会の始めに書いた字と終わりに書いた字を比べると、まるで別人が書いたようになりました。新年の書初め会が楽しみです。



行列のできる図書館<読書旬間（11月6日～20日）>



夏の間リニューアルした図書室。新しい書籍もたくさん入りました。本が大好きな子供が多い飯小学校の図書館は休み時間に行列ができています。

今年も読書旬間中に、小山学校司書や教職員による読み聞かせが行われました。また、図書委員会は全校の子供たちにもっと本に親んでもらえるように、放送による本の紹介やクイズなどを行いました。

学校給食運営協議会（12月2日）

飯小学校の給食の調理が業者委託となって3年目となりました。12月2日に、PTA役員、委託業者代表、学校職員（管理職・栄養教諭）、教育委員会担当で学校給食運営協議会を行いました。会では、先日取ったアンケート結果が紹介されました。児童の81%が「給食はおいしい」、95%が「味はちょうどよい」、74%が「たまに残す」、90%が「給食は楽しみ」と回答したことや「いつもありがとう」「おいしくて楽しみ」「これからもよろしくお願いします」というメッセージが大半を占めていることを確認しました。また、「苦手なものでも給食なら頑張って食べているようなのでありがたいです」という保護者の声や要望についても協議の話題となりました。調理員さん方は、安全に細心の注意を払って毎日約400食の給食を調理してくれています。毎日栄養バランスの取れた給食を食べられて、子どもたちは幸せだと思います。

性教育講座（12月1日）

滝澤ミチ子様を講師に迎え、中学年児童を対象に性教育講座を行いました。「プライベートゾーンはなぜ大切なのか」「大人に向けて身体が変化していくこと」をペープサートや写真、模型等を使って分かりやすく教えていただきました。自分の身体の大変なことだったので、子供たちは真剣に話を聞いていました。



<子どもの感想>

- ・ 普段の授業では聞けない話を聞けて、うれしかった。
- ・ 自分の体の中なので変化がいつ起こるかわからないけれど、大人になる上で大切なことであることがわかりました。
- ・ 男子は男性へ、女子は女性になることがわかりました。大人への道を考えていきたいです。